

第5回まちづくり座談会実行委員会 会議

令和3年11月21日 18時30分～

役場 小会議室

1. 前回までの内容・をおさらい・確認

○会議の進め方について、役割は強制せず、できる範囲で協力し合いながら有志で行う。

2. これまでの経過まとめ・確認

3. 意見交換

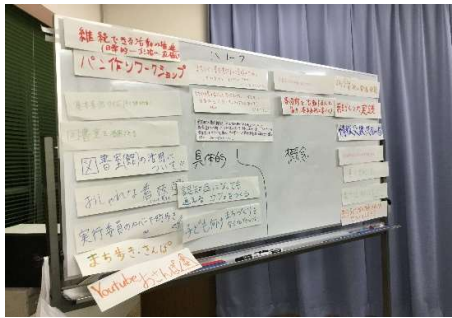
○今年度はこれまで行ってきた座談会を実施するか。

結論：実施しない

【意見】(抜粋)

対話を深めてからの座談会を希望する人が多い。／今年度は座談会実施をした方がいいと思う人がいない。／時間が足りない。何かを行うのであればもっといいものを行うために今年度は練る期間としたい。／異業種交流／町民向けの勉強会というかたちの座談会

○実施しない場合、次回以降の方向性について



【抜粋】

<概念>	座談会のあり方／情報交換・共有の場・条例の見直し／気づく場／町の人・資源発掘 等 条例の浸透のため、こじんまりだべる場／ まちづくりに取り組むひとたちを集め、この実行委員会ができることを探す 等
<行動>	図書館の活用／実行委員でまち歩き／子ども向けにまちづくりを学ぶプログラムづくり、 条例クイズ／認知症になっても通うことができるカフェ／パン作りワークショップ／継続可能な活動 等
その他	「条例の浸透」はぶれない。／協働を後押しする場・主体を育てる場・情報交換を通して学ぶ場／条例に基づく行動であれば自由に活動ができる。／メンバーがもっと気軽に楽しみながら考えたりできる会議にしたい。／主体が一番のカギ／実行委員会の成果物として、SDGsのようなアイコンづくりをしたい。／ありがたい姿は条例を理解し、メンバーを卒業する人が増えること／もっとメンバー同士お互いを深く知り合いたい 等

【次回】

- ・今は、概念や行動を考え話し合う場ではなく、委員同士、お互いを知る時間とする。
- ・成果物としてのアイコンを作るということを検討していく。

4. その他

○学習会について

第4回の会議にて、まちづくり基本条例ができるまでの振り返りを行ったこともあり、現地点では、行わない方向。必要があれば、検討する。

○次回の準備/進行者の選出